

# 会 議 録

## 1 会議名

令和3年度第3回大島区地域協議会

## 2 議題（公開）

### 1 協 議

(1) 出張地域協議会について

(2) 視察研修について

### 2 その他

(1) 地域協議会だよりについて

(2) 第4回及び第5回地域協議会の開催日について

## 3 開催日時

令和3年6月23日（水）午後2時00分から3時00分まで

## 4 開催場所

大島就業改善センター3階 大会議室

## 5 傍聴人の数

0人

## 6 非公開の理由

—

## 7 出席した者（傍聴人を除く。）氏名（敬称略）

・委 員：飯田多津子、内山信、内山元栄、武田昌午、中村朝彦、丸田新一、丸田松男、山岸久雄、吉野健治

・大島区総合事務所：小林所長、岩野次長、小林市民生活・福祉グループ兼教育・文化グループ長、総務・地域振興グループ 高橋班長、佐藤主任

## 8 発言の内容

### 【丸田会長】

・会議の開会を宣言

・挨拶

・上越市地域自治区の設置に関する条例第8条第2項の規定により、委員の半数以上の出席を確認、会議の成立を報告。

- ・本日の会議録の確認は委員番号12番の吉野健治委員にお願いする。

**【吉野委員】**

- ・了承

**【丸田会長】**

- ・協議事項（1）出張地域協議会について、事務局に説明を求める。

**【岩野次長】**

- ・資料No.1及び参考資料に沿って説明。

**【丸田会長】**

- ・この出張地域協議会は中村前会長が発案し、大島地区及び保倉地区の2地区で毎年、4年間実施している。私は、昨年の大島地区及び保倉地区の出張地域協議会は、発言自体が非常に少ないと思った。確かに委員と地域住民が顔を合わせる良い機会であるが、マンネリ化し、出席者も少なく、意見もあまりないという状況が多々見られるので、このまま出張地域協議会を続けていくのか、違う方向でいくのか、色々な案があると思うが、皆さんの意見を伺いたい。

**【中村委員】**

- ・意見交換であまり意見が出てこなくなったのはそのとおり。
- ・まだ開始して4年なので、もう一回りしてはどうか。
- ・ある意味で一番重要視しているのは、誰も地域協議会に傍聴に来てくれないということ。委員は皆、ほぼ毎月一生懸命に頑張っているが、住民の皆さんに声かけをしても来てもらえない。大島地区や保倉地区に行けば、多い少ないは皆さんの見方次第であるが、行けば10人位は来てくれるので、地域協議会の活動を見てもらうのに少しはよい。
- ・住民の皆さんから参加していただけるアイデアが他にあるかというとなかなかない。例えば、出張しなくても住民の皆さんが、5人でも6人でもこの会場に来てくれる何かしらの方策があればよいと思う。そうでなければ、大島地区や保倉地区で実施することにより、皆さんから少しでも関心を持ってもらえればよい。
- ・大島地区や保倉地区で実施して、誰も来なくなれば意味はないが、今の状態であればやる意味はそれなりにある。

**【丸田（松）委員】**

- ・令和3年度も令和2年度と同様に出張地域協議会を実施すべきと思う。

- ・そこで違った方法でいろいろな意見が出れば、それでよいと思う。

#### 【山岸委員】

- ・私も先ほど意見を述べられた2人と同じ考えである。
- ・このような言い方をすると地元にしりぞけないが、旭地区はおそらく集まる人は少ないのではないかと予想される。多くの参加者が見込まれる大島地区や保倉地区を会場とし、旭地区で参加したいという人がいれば、そこに参加してもらおうという方向でよいと思う。出張地域協議会は実施すべきである。

#### 【吉野委員】

- ・3人と同意見になるが、具体的な提起や視点で変わった質問や要望は出てこないのは実態であるが、地区に大きな問題はないという捉え方をしてもよいのではないかと。
- ・地域協議会の存在を一部の人であっても見てもらい、それだけでも出張地域協議会は実施する価値がある。今までやってきたものを一旦止めて進展が期待できれば別であるが、逆に保倉地区や大島地区に限定せずに旭地区や菖蒲地区でも開催したらよいと思う。

#### 【内山（元）委員】

- ・コロナ禍なので、状況は中々厳しい。変化がないというのは一番の問題と思っている。傍聴人もいない中で、めぼしい内容のものがあればと思っている。毎年という訳ではなく2年に1回とか、来ない人は本当に来ないということでマンネリ化しないように実施した方がよいのではないかと。

#### 【内山（信）委員】

- ・開催に賛成が50%、反対が50%という気持ちである。どちらかに決めなければいけないのであれば反対である。

#### 【飯田（多）委員】

- ・今まで何回か実施してきた中で、あまり意味がなかったという地区の住民もいたかと思うが、一度止めると次に実施するときに参加者が少なくなると思われるので、今年度も開催した方がよい。

#### 【武田副会長】

- ・私も皆さんの意見と同じで続けた方がよいと思っているが、集まる人数が保倉地区も大島地区も段々と減ってきている状況であり、内容も地区要望に関係するものがほとんどであり、関心のあるものしか質問がなかったりという形になってきている。

私は大島地区のことは把握しているが、他の地区のことは情報が入ってこないで、委員の皆さんから各地区の情報を拾い上げてもらい、もし人数が集まらなければここで相談をするような形でもよいかと思っている。

**【丸田会長】**

- ・今、皆さんの意見を聞いた中では、出張地域協議会の開催に賛成する意見がほとんどなので、今年も開催することとしてよいか。

（「はい」の声）

- ・時期及び開催日等について、事務局に説明を求める。

**【岩野次長】**

- ・地域協議会の総意ということで、出張地域協議会と意見交換会を開催することとなったと承知した。
- ・出張地域協議会は2つの役割があると認識している。1つ目には地域協議会を地域で開催することにより、地域協議会の活動を地域住民に知ってもらうこと。2つ目には地域住民との意見交換会で、地域住民の意見を聞き、地域の課題を把握することである。
- ・今までのやり方を踏襲すると、意見交換会は地域協議会が地域課題を把握する場であるにもかかわらず、住民からの要望が事務所向かうだけで終わってしまう。それが果たして出張地域協議会を実施する本意なのかどうか疑問なので、今回整理していただきたい。
- ・時期や会場は地域とも相談する。委員の皆さんの話では、大島地区と保倉地区だけ開催ということであるが、先ほど説明した出張地域協議会の本意を鑑みて、旭地区と菖蒲地区で開催することについても、今一度検討していただきたい。

**【丸田会長】**

- ・旭地区と菖蒲地区でも地域住民の話を聞くということで進めたい。
- ・今までの意見交換会は地域住民が総合事務所に要望するだけであるので、委員も意見を持って発言してもらいたい。

**【岩野次長】**

- ・地域協議会委員と地域住民との意見交換なので、地域住民が意見を言う相手は地域協議会委員である。

### 【丸田会長】

- ・地域協議会委員は地域住民に話題を提供し、意見交換を行うので、委員もただ聞いているだけでなく、発言してもらいたい。
- ・他に意見があるか委員に発言を求める。

### 【吉野委員】

- ・令和元年度の学校の統廃合についての要望の内容について、分かればこの場で教えていただきたい。分からなければ、当時の議事録等の関係する部分だけでよいので、写しをいただきたい。
- ・6月15日の新聞で安塚区、浦川原区、大島区の学校の統合問題について報道されていたが、その中でも大島区のことを重点的に書かれている感じがした。
- ・以前から統合に係る話は聞いているが、具体的な内容については承知していない。ただ、保護者の検討は具体的に進んでいるように思われるが、今後、近々統合問題については、具体化して話題になっていく中で、我々は地域協議会委員として、学校問題に対してどのような姿勢で、準備や情報収集をして関わっていったらいいのかというのも今の時点から考えていかなければならないと思った。
- ・今日の新聞で妙高市の妙高高原北小と南小の統合の件について報道されていた。この中では、教育委員会の考え方として、学校を核とした地域力強化の観点から旧市町村をまたいだ統合は行わない方針と記載されていた。この妙高市の方向性と大島区の保護者の検討委員会の方向性は真逆になったが、これについては賛否両論あると思う。また、最近の近隣の状況では、浦川原区の3つの小学校を1つに統合することについて、浦川原区の地域協議会が大きな関わりを持っているという話も聞いている。
- ・このような情勢の中で、我々は出張地域協議会で、学校の統合問題が具体的に話に出てくるまでは、我々は待っているべきなのかどうか。教育委員会としては、今はどちらかというと保護者と地域住民に説明することを優先し、理解を高めていきたいという方向性だと認識している。そのような中で、地域協議会の学校統合問題に対する考え方を我々の内部で意思統一をしておく必要があるのではないかと提言させていただく。

### 【丸田会長】

- ・令和元年度の出張地域協議会での学校統合の話については、中村委員から話をして

もらいたい。

#### 【中村委員】

- ・学校統合についての話は出たが、かなり感情的なものであって、具体的にどうしようかというところまでいかなかった。また、教育委員会への働きかけなど色々なことがあるが、市からそのような情報を出してもらえなかったこともあり、地域協議会で検討するまでに至らなかった。
- ・学校統合問題に対して、どのように向かっていくかということについては、今後地域協議会で考えていただきたい。
- ・地域協議会が学校統合問題にどこまで関われるのか、私には分からないので、そのことについては何とも言えない。
- ・学校統合問題に関して、市から公式な話は聞けなかったが、個人的に委員の皆さんからある程度手分けをしていろいろ話を聞いた範囲では、統合した方がよいという意見は、意見交換会の時の2件だけで、それ以外の人、例えばPTA会長等に話を聞いてみても統合に賛成という人はいなかった。

#### 【丸田会長】

- ・私もその意見交換会の場において、話を聞いていたが、その時はPTAの人がいて統合の話が内々にあるのだが、地域協議会に話をあげていただけないかという個人的な話でしかなかったので、当時の会長は地域協議会に話をあげなかったと思う。
- ・浦川原区の地域協議会で学校統合問題について検討する方向で向かっているとは承知しており、PTAでアンケート調査をしているという報道も承知しているが、この問題は地区のPTA全員から声が上がり、地域協議会に話があってから活動すべきと考えている。また、今のところは教育委員会と話し合いをしており、地域協議会に話が来ない限りは、私はあまり動くべき問題ではないと考えている。
- ・先ほどの話に戻るが、出張地域協議会の意見交換会は、委員もそこで座っているだけでなく、意見を言いながら盛り上げていく形にしたいと思っている。今までの意見交換会は住民が質問し、総合事務所が回答する形となっていて、委員の発言も少なかったが、できるだけ住民に寄り添うような形で開催したいが、それでよいか。

（「はい」の声）

- ・時期については事務局と相談して決めたいと思うが、それでよいか。

（「はい」の声）

- ・他に意見、質問はあるか。

(意見、質問なし)

- ・協議事項(2) 視察研修について、事務局に説明を求める。

**【岩野次長】**

- ・資料No.2 及び参考資料に沿って説明。

**【丸田会長】**

- ・今ほど事務局から説明があったが、視察研修について皆さんの意見を伺いたい。

私の意見は、委員のほとんどの方が新型コロナウイルスワクチンを2回接種しており、いろいろなことが前向きに考えられてきているので、できれば視察研修を実施したい。

**【中村委員】**

- ・可能であれば、視察研修を実施した方がよい。ここ数年、視察研修については、地域協議会で、行ってすぐに成果がなければならぬという意見が出てきて、段々とそのような話になって、視察先もそのようになってきている。逆に、地域協議会で行ってすぐに成果が出るという形で視察研修を実施すると、かえって実のないものになりかねない。
- ・初期の頃に興味を引くところを視察した。その方が、委員が地区に視察の経験を地区に持ち帰り、それぞれの地区で新しい試みになったり、地域協議会の中でも話題になったりしたので、あまり堅苦しく考えず、ここを視察したら何かヒントが得られるのではないかというところを視察先に選んでもよいと思うし、市内はまだ行ってないので、市内でもよいと思う。

**【丸田(松)委員】**

- ・受入れの関係もあるので、視察研修は今年も中止した方がよいと思う。

**【山岸委員】**

- ・我々が視察に行くといっても受入先が困ることも考えられる。
- ・先ほど、視察に行けば何か得られるという話があったが、行ってそれで終わりという視察であれば、私は行かない方がよいと思う。

**【吉野委員】**

- ・私は視察研修を実施すべきと思う。視察の依頼がある以上、受入側は応じなければいけないと思う。

- ・地域協議会の活動に即直結するような成果を上げることは、中々期待できないが、視察から新しい発見や気づきが得られ、ゆくゆくはどこかで地域住民に還元できればよいのではないかと思う。
- ・個人的には、以前、妙高市から上越市に流れる上江用水路が『世界かんがい施設遺産』に登録されて5年が経過したという新聞記事を見て興味を持ったので、そちらを視察したい。

**【内山（元）委員】**

- ・地元で地域活動支援事業を実施した場所を視察すればよいと思う。例えば、薬師に係る事業は、今年、多額の補助を受けているので、現地を視察し、検証等したりすればよいと思う。

**【内山（信）委員】**

- ・どちらかというところと反対である。前年度と同様に中止した方がよい。

**【飯田（多）委員】**

- ・実施する時期によると思うが、今年はもう一年様子を見て、前年度と同様に実施しなくてもよいと思う。

**【武田副会長】**

- ・今までの研修先は長岡市や十日町市等であるが、今の状況を考えると、そこまで行かなくても上越市内でも視察に適した場所があるのではないかと思う。

**【丸田会長】**

- ・視察に行くべきという意見が3名で、視察は実施するが、市内で実施すべきという意見が1名、区内で実施すべきという意見が1名、中止すべきという意見が4名となり、意見が分かれたが、皆さんの意見を伺いたい。

**【丸田（松）委員】**

- ・本日は欠席している委員が3名いるので、後日、欠席している委員の意見を聞いた上で決めればよいのではないか。

**【中村委員】**

- ・新型コロナウイルスの影響があり、視察先が受け入れるかどうかということもあるので、今年度は実施しなくてもやむを得ないと思う。
- ・また、視察研修の効果について、もう一度話をするが、最初は何回か地域おこし協力隊を導入しているところに行き、地域協議会や地域の中で、地域おこし協力隊を



大島区にも導入して欲しいという動きにつながり、菖蒲地区に地域おこし協力隊が導入することになった。柏崎市のシャッターアート取組は、視察した翌年に大島区でも実施した。また、上達で県営農地環境整備事業を実施しているが、これは十日町市を視察した際に訪れた場所であり、その後、上達でもう一度そこに視察に行き、今の実施している事業につながった。地域協議会で話題になってもならなくても、視察に行き、そこで見たり聞いたりしたことを取り組んでいることが結構あるので、すぐに成果が出なくても、大きく考えて実施すればよいと思う。

- ・新型コロナウイルスの影響で実施できないというのであれば、今年中止してもよいと思う。最終的には丸田会長に判断を任せる。

**【丸田会長】**

- ・欠席している委員が3名いるので難しい判断になるが、意見として中止もやむを得ないという委員の意見も多いので、今年の視察研修については、中止ということではどうか。

(「はい」の声)

- ・その他(1) 地域協議会だよりについて、事務局に説明を求める。

**【岩野次長】**

- ・資料No.3に沿って説明。

**【丸田会長】**

- ・事務局の説明に対し、質疑を求めるもなし。
- ・その他(2) 第4回及び第5回地域協議会の開催日について、例年、第4回は7月の下旬に開催し、第5回は8月の下旬に開催しているが、8月上旬に諮問案件、9月上旬にその答申が予定されているため、第4回は8月11日(水)、第5回は9月3日(金)、いずれも時間は午後2時から開催としたいが、それでどうか。

(「はい」の声)

- ・他に発言を求める。

**【山岸委員】**

- ・今年の豪雪で、市から補助を受けて農家組合が実施主体となり農道を除雪した。田麦から大平に向かう市道中尾線とその前後の農道について除雪したが、中尾線については市道ということで、補助対象から外された。補助対象から外れた距離は長くはなかったが、そこを除雪しないと中に入れないので、対応について地元で話し合

いをして、補助対象外ならそれで仕方がないという結論になり、農家組合で除雪をしたという経緯があった。中尾線は市道であるが、以前に生コンクリートの支給を受けて、地元で舗装し管理している。

- ・私は町内会長をしていて、市の対応が、ある時は市道、ある時は農道という解釈をされるがその辺についてどのようになっているのか。7月1日に定例役員会があるので、その際に話をしたいと思っている。

**【岩野次長】**

- ・同じ市道でも取扱いが、その時によって違うという件で、農道除雪の対象にならなかったことも含めて、市で今一度整理をし、回答させていただく。

**【山岸委員】**

- ・7月1日に定例役員会があるので、その時までには回答してもらいたい。できないのであれば、8月1日に隣の町内会との合同会議があるので、その時までにはきちんと回答してもらいたい。

**【岩野次長】**

- ・8月1日までに山岸委員に回答する。また、他の委員にも考え方の情報共有ということで、次回の地域協議会で説明をさせていただく。

**【丸田会長】**

- ・他に、発言はあるか。  
(質疑、意見なし)
- ・それでは、以上をもって第3回地域協議会を閉会する。

9 問合せ先

大島区総合事務所総務・地域振興グループ TEL : 025-594-3101 (内線 61)

E-mail : oshima-ku@city.joetsu.lg.jp

10 その他

別添の会議資料も併せてご覧ください。